I-O DATA

ポータブルオーディオプレーヤー

MDM-H2LP

取扱説明書

株式会社 アイ・オー・データ機器

91725-01

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
5) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
6) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
7) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
8) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
9) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- HyperHydeは、株式会社アイ・オー・データ機器の商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

MDM-H2LP 取扱説明書
2001.Jun.12 91725-01
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地
© 2001 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品および本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。

安全にお使いいただくために

安全上のご注意

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

■警告及び注意事項

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵記号の意味



この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「発火注意」を表す絵表示



この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「分解禁止」を表す絵表示



この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 警告


禁止

AC アダプタは AC100V 以外の電圧で使用しないでください。

本機に添付の AC アダプタは、AC100V 専用です。指定以外の電源電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。


禁止

ぬれた手で AC アダプタの抜き差しはしないでください。

感電の原因になることがあります。


電源プラグを抜く

異常が起きた場合は AC アダプタをコンセントから抜いてください。

煙が出たり、変な臭いや音がする場合は、すぐに AC アダプタをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。


厳守

AC アダプタは添付の AC アダプタをお使いください。

本機に添付の AC アダプタ以外の AC アダプタを使用すると火災・感電・動作不良の原因となります。


厳守

本機の取り付け、取り外しの際は、必ず本書で、取り付け取り外し方法をご確認ください。

間違った操作を行うと火災・感電・動作不良の原因となります。


禁止

本体を濡らしたり、お風呂場などでは使用しないでください。

火災・感電の原因となります。お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。


禁止

イヤホンで聞きながら、自動車の運転や歩行はしないでください。

特に踏切や交差点などでは周りの音が聞こえず、交通事故の原因となります。

⚠ 注意


分解禁止

本機を修理・改造・分解しないでください。

動作不良の原因になります。
修理は弊社修理係にご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有償修理となる場合があります。


禁止

本機は以下のような場所で保管・使用しないでください。

故障の原因になることがあります。

- ●振動や衝撃の加わる場所
- ●直射日光のあたる場所
- ●湿気やホコリが多い場所
- ●温度差の激しい場所
- ●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
- ●強い磁力電波の発生する物の近く
  （磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
- ●水気の多い場所（台所、浴室など）
- ●傾いた場所
- ●腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_Xなど）
- ●静電気の影響の強い場所


禁止

本機は精密部品です。以下の注意をしてください。

- ●落としたり、衝撃を加えない
- ●製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- ●重いものを上にのせない
- ●そばで飲食・喫煙などをしない


注意

指定した電池を正しい方向（プラス・マイナス）で入れてください。

指定以外の電池は使用しないでください。（指定電池は 5 ページ【使用できる電池】を参照）また、プラスとマイナスは正しく入れてください。間違えると、電池の液漏れや破裂などにより、火災やケガ、機器破損の原因となります。


注意

1ケ月以上使用しないときは、電池を抜いてください。

電池から液漏れし、火災やケガ、機器破損の原因となります。
万一、液漏れしたときは、乾いた布などで電池ケースの周りをよく拭いてから、新しい電池をいれてください。


厳守

はじめに、音量(ボリューム)を最小にしてください。

突然大きな音がでて聴力障害などの原因になることがあります。
ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにしてください。
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。


厳守

ふたを開けるときは、停止してから開けてください。

けがや故障の原因になります。ふたを開けるときは電源を切ってから開けてください。


禁止

MP3 データ以外のファイルの拡張子を MP3 に変更しないでください。

パソコンで MP3 ディスクを作成するとき、MP3 データ以外のファイルの拡張子を MP3 に変更しないでください。拡張子が MP3 のファイルは音楽データとして再生します。ファイルの内容によっては大きなノイズがでたり、故障の原因になります。


禁止

LINE OUT 端子にモノラルスピーカ用のケーブル(1 極のケーブル)を差さないでください。

故障の原因になります。ステレオスピーカ用のケーブルをお使いください。

使用上のご注意

本機をお使いになるときに、以下の注意事項をお読みください。

●MP3 ディスクはシングルセッションで書き込んでください。

パソコンで MP3 ディスクを作成するときは、シングルセッションで作成してください。本機はマルチセッションには対応しておりません。マルチセッションで作成したディスクは最初のセッションのみ再生されますのでご注意ください。

●総フォルダ数は 20※まで、総ファイル数は 200 までにしてください。

パソコンで MP3 ディスクを作成するときは、総フォルダ数 20※、総ファイル数は 200 以下で作成してください。それ以上のものは再生できません。

※総フォルダ数はルートも含んだものです。

●CD Extra のデータ部分は再生できません。

CD Extra では音楽データ部分のみ再生します。

●Mixed CD には未対応です。

●パケットライト方式で書き込まれたディスクは再生できません。

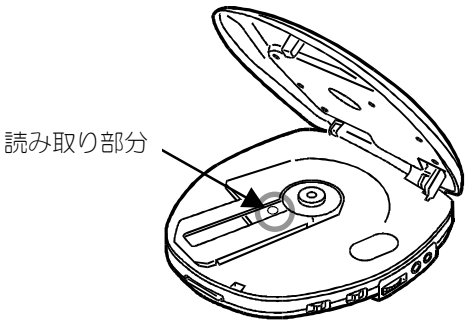
※パケットライト方式についてはviiiページ参照

●電源が入った状態でリモートコントローラおよびイヤホンの抜き差しはしないでください。

誤動作の原因になります。抜き差しは電源を切ってから行ってください。

●読みとり部分には手をふれないでください。

本機の読みとり部分には手をふれないでください。故障の原因になります。



安全にお使いいただくために ····· i
使用上のご注意 ····· v
目次 ····· vi

1 ご使用になる前に

箱の中身は ····· 1
本機でできることは？ ····· 3
電池で使うとき ····· 4
AC アダプタで使うとき ····· 6
接続のしかた ····· 7
各部の名前と機能 ····· 8
ユーザー登録をする ····· 11

2 音楽 CD を聴くには

音楽 CD を再生する ····· 13

3 MP3ディスクを聴くには

MP3 ディスクを再生する ····· 18
ID3TAG（曲情報）の表示の切替について ····· 20
MP3 ディスクのフォルダ階層について ····· 21

4 機能について

24 曲プログラム機能 ····· 24
アンチ・ショック機能 ····· 31
再生モード選択機能 ····· 32
ファイル・フォルダ サーチ・再生機能(MP3 のみ) ····· 33
ファイル・フォルダ 選択・再生機能(MP3 のみ) ····· 37
簡易レジューム機能 ····· 40
その他の機能 ····· 41
　バス・ブースト機能 ····· 41
　ホールド機能 ····· 41
　オートパワーオフ機能 ····· 42

5 故障かなと思う前に

トラブル Q&A＜目次＞ ····· 43
トラブル Q&A ····· 44
簡単なお手入れ ····· 48

6 付　録

ハードウェア仕様 ····· 49
用語解説 ····· 51
アフターサービス ····· 52

参考

ディスクの書き込み方式について

（本機では書き込みはできません。）

ディスクの書き込み方式は以下の３つの種類があります。

本機ではパケットライト方式で書き込まれたディスクには対応しておりません。

●ディスクアットワンス方式

１枚のメディアに対して１度にまとめて記録する方式です。追記はできません。

●トラックアットワンス方式

１枚のメディアに対して、トラック単位で記録する方式です。追記ができます。

※本機では追記されたものは再生できません。

●パケットライト方式

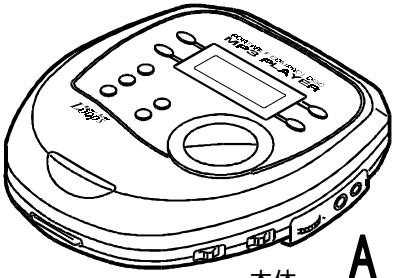
メディアの空き容量に応じてトラックをさらに分割して記録する方式です。追記ができます。

※本機ではパケットライト方式で書き込まれたディスクは再生できません。

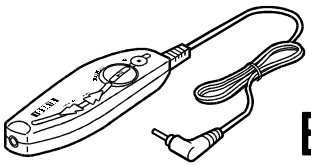
1 ご使用になる前に

箱の中身は

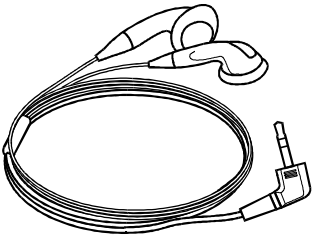
箱の中身をご確認ください。
万一、不足品がありましたら、弊社サポートセンターまでお知らせください。



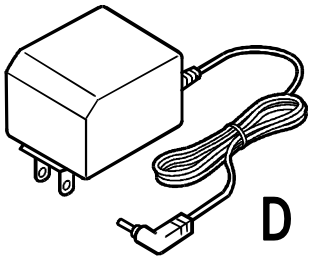
本体 A



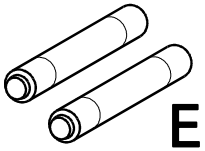
B
リモートコントローラ



C
ステレオイヤホン



D
AC アダプタ



E
単3アルカリ乾電池

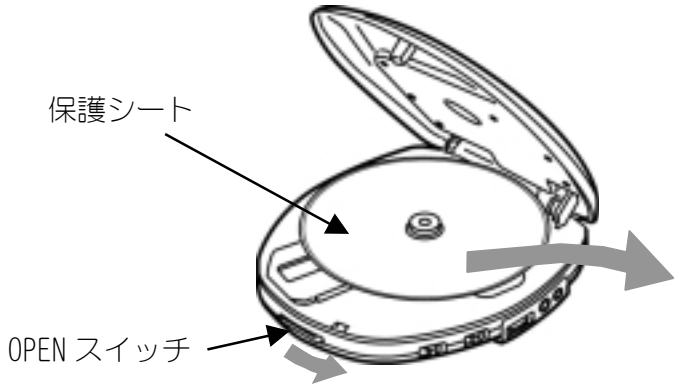
箱の中身は

チェック欄に✔を付けて箱の中身のチェックを行ってください。

チェック	No.	内容物	個数
	A	本体	1個
	B	リモートコントローラ	1個
	C	ステレオイヤホン	1本
	D	AC アダプタ	1個
	E	単3アルカリ乾電池（動作確認用）	2本
✔	−	取扱説明書（本書）	1冊
	−	ユーザー登録カード	1枚
	−	ハードウェア保証書	1枚
	−	ハードウェアシリアル No. シール	1枚

箱・梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にご利用ください。

本機の OPEN スイッチをスライドさせて上ぶたを開け、保護シートを取り外してください。



本機でできることは？

本機ではいろいろ便利な機能があります。詳しい操作は本文をお読みください。

音楽 CD（CD-DA）の再生
12cm、8cm の音楽 CD を再生することができます。

13ページ

MP3 ディスクの再生
MP3 ファイルが書き込まれた CD-R や CD-RW を再生することができます。
１枚で音楽 CD 約 10 枚分の演奏が楽しめます。

17ページ

ファイル・フォルダのサーチ、再生
聴きたい曲を曲名（ファイル名）、アルバム名（フォルダ名）で検索して再生することができます。（MP3 のみ）

33ページ

ファイル・フォルダの選択、再生
曲番号（ファイル番号）、アルバム番号（フォルダ番号）を選択して再生することができます。（MP3 のみ）

37ページ

24曲プログラム演奏
聴きたい曲の順番を自由にプログラムできます。

24ページ

再生モードを選択
全曲リピート、１曲リピート、フォルダ全曲リピート（MP3 のみ）、イントロ再生、ランダム再生が選択できます。

32ページ

アンチ・ショック
振動を受けても音飛びがしないようにします。

31ページ

ホールド
ホールドを ON にすると、ボタン操作を無効にするので、誤ってボタンが押されても大丈夫です。

41ページ

簡易レジューム
停止状態から直前に演奏していた曲に戻ることができます。

40ページ

バス・ブースト
DBBS（Dynamic Bass Boost System）スイッチを ON することにより、より迫力のある低音になります。

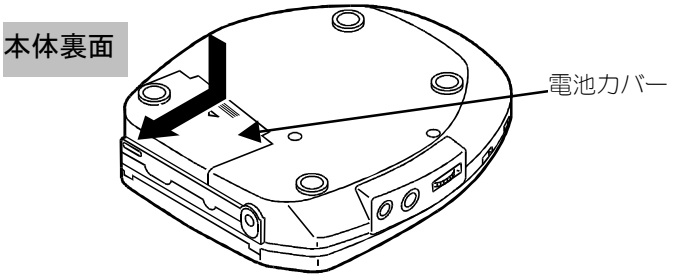
41ページ

電池で使うとき

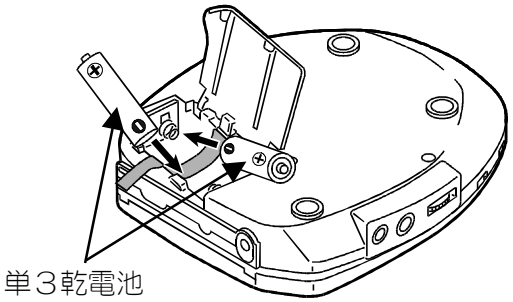
付属の乾電池は動作確認用です。できるだけ早く新しい電池と取り替えてください。使用する電池は単３アルカリ乾電池をお使いください。マンガン乾電池の場合は再生時間がアルカリ乾電池に比べて短くなることがあります。
※充電池もお使いいただけます。（本機で充電することはできません。）

乾電池を入れる

1 電池カバーを開けます。
電池カバーを押しながら、矢印の方向にずらします。

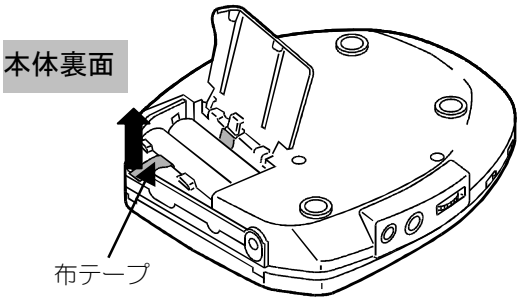


2 電池を入れます。
＋と－に注意して入れてください。図のように－側から入れてください。



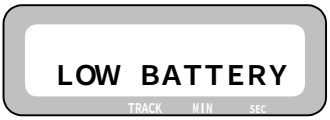
乾電池を取り出す

電池カバーを開け、布テープを上にひっぱります。



乾電池の交換時期は？

電池の残り容量が少なくなると液晶表示器に以下のように表示されます。
以下の表示がでたら、早めに電池の交換をしてください。



使用できる電池

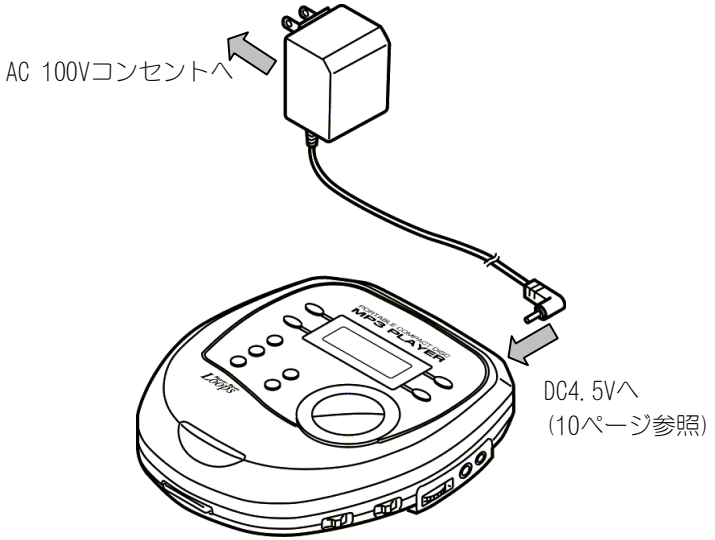
本機では以下の電池をお使いください。

・単 3 アルカリ乾電池（推奨）
・単 3 マンガン乾電池
・充電池

AC アダプタで使うとき

AC アダプタは添付のものをお使いください。また、使用するときは【安全にお使いいただくために】（ i ページ）をお読みください。

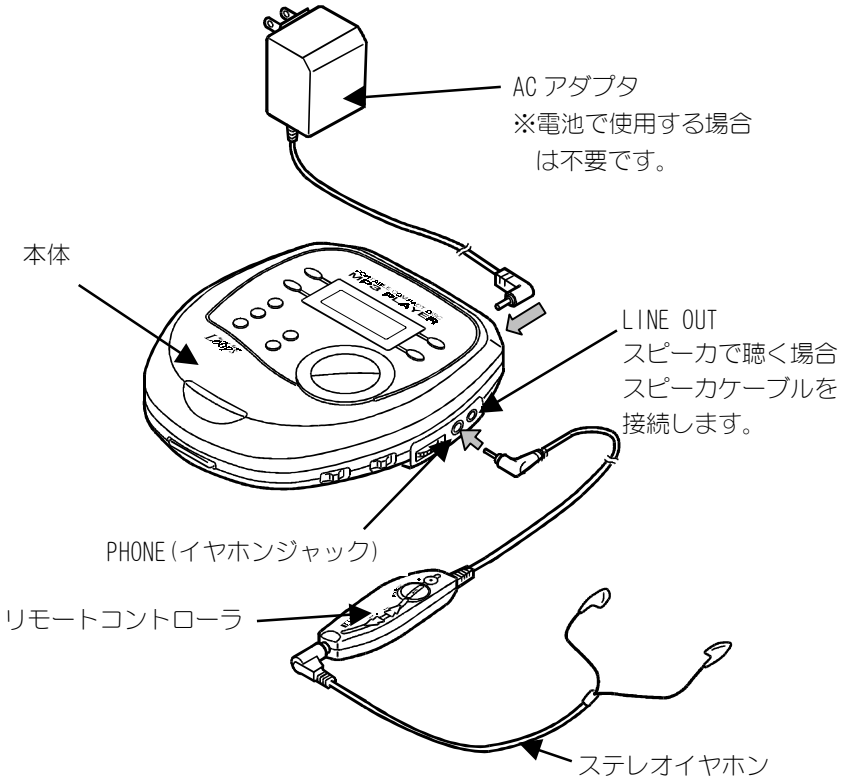
AC アダプタを AC 100V コンセントに接続し、もう一方を本体の DC4.5V に接続します。



・電池の充電はできません。
・AC アダプタ使用時は電池は使用されません。

接続のしかた

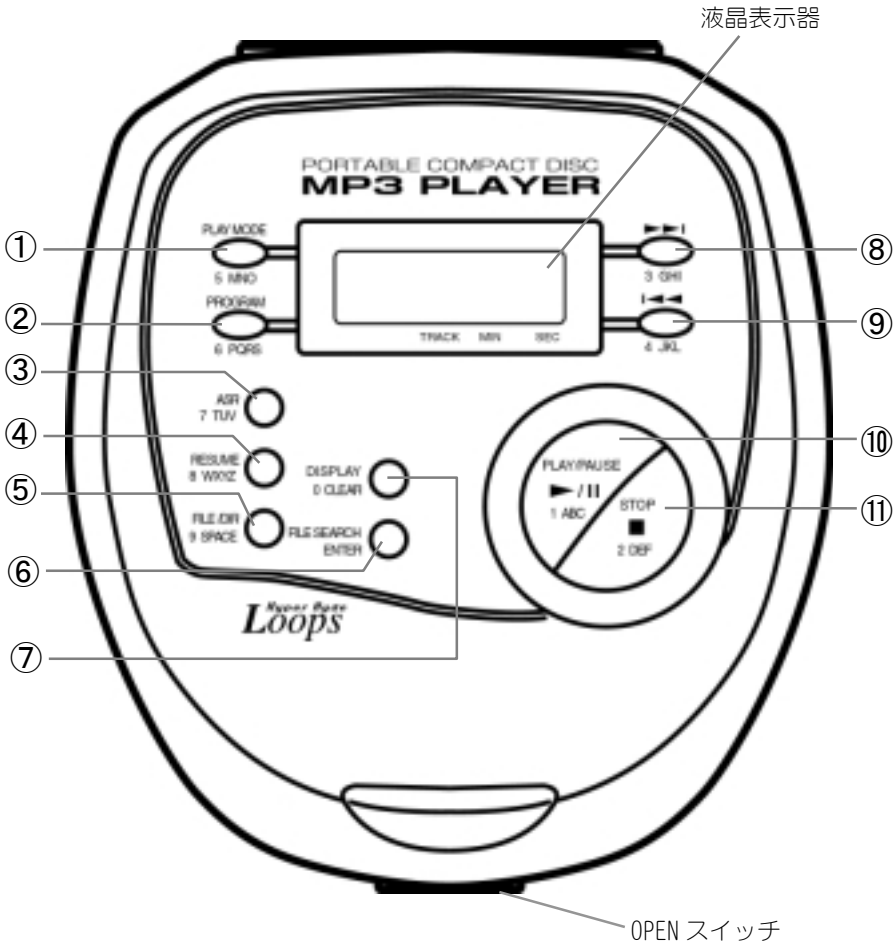
本機で演奏を楽しむには、電池または AC アダプタを接続してください。
次にリモートコントローラ（ステレオイヤホン接続）を PHONE（イヤホンジャック）に接続してください。ステレオイヤホンを PHONE（イヤホンジャック）に接続しても使用できます。



・ステレオイヤホンは市販のものでもご利用できます。（ステレオミニジャックタイプのものをお買い求めください。）
・ステレオイヤホンはインピーダンスが 16Ω のものをお使いください。
16Ω 未満のものを使用した場合故障や発熱の原因になります。

各部の名前と機能

本機をお使いになる前に各部の名前と簡単な説明を確認してください。



本体上面

本体上面のボタンと機能

	ボタン名	機能	参照
①	PLAY MODE （5 MNO）	**再生モード設定ボタン** 各種リピート再生、イントロ再生、ランダム再生を選択します。	32 ページ
②	PROGRAM （6 PQRS）	**プログラム再生設定ボタン** 再生する曲順を自由に指定できます。	24 ページ
③	ASR （7 TUV）	**アンチ・ショック・レジストボタン** 振動による音飛びを防止する機能を ON/OFF します。	31 ページ
④	RESUME （8 WXYZ）	**簡易レジュームボタン** 停止した曲に戻ります。	40 ページ
⑤	FILE/DIR （9 SPACE）	**ファイル、フォルダ（ディレクトリ）選択ボタン** 曲番号、アルバム番号を指定して再生します。	37 ページ
⑥	FILE SEARCH （ENTER）	**ファイルサーチボタン** 曲名、アルバム名を英数字でサーチ（検索）します。	33 ページ
⑦	DISPLAY （0 CLEAR）	**液晶表示モード切替ボタン** 情報、再生モード、アルバム名、曲名の表示を切り替えます。	20 ページ
⑧	▶▶ （3 GHI）	**FF（曲順送り）ボタン** 次の曲へスキップします。	
⑨	◀◀ （4 JKL）	**REW（曲逆送り）ボタン** 前の曲にスキップします。	
⑩	PLAY/PAUSE ▶/⏸ （1 ABC）	**再生／一時停止ボタン** 停止中に押せば再生、再生中に押せば一時停止します。	
⑪	STOP ■ （2 DEF）	**停止ボタン** 再生中に押せば停止、停止中に押せば電源が切れます。	

英数字を入力するときには、カッコ（ ）の中の英数字ボタンとして使えます。

■VOLUME(音量)

音量を上げ下げします。

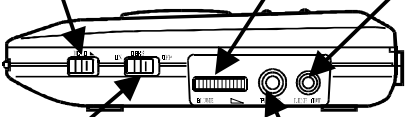
■HOLD(ホールド)

ホールド位置にすると、一切のボタン操作を無効にします（誤操作防止）。リモートコントローラは操作できます。

■LINE OUT

スピーカなどを接続します。

※モノラルケーブルは使用しないでください。



■DBBS(バスブースト)

低音をより強調します。

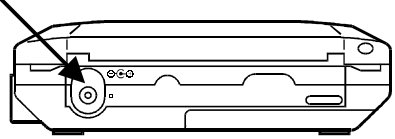
■PHONE(イヤホンジャック)

イヤホンやヘッドホンを差し込みます。

本体横面

■DC4.5V(外部電源)

添付の AC アダプタを接続します。



本体背面

■VOLUME(音量)

音量を上げ下げします。

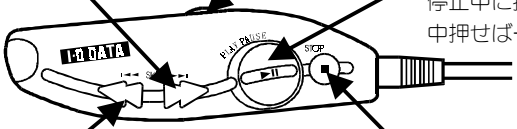
■FF (曲順送り)

次の曲へスキップします。

■PLAY/PAUSE (再生/一時停止)

停止中に押せば再生、再生中押せば一時停止します。

ヘッドホン



■REW (曲逆送り)

前の曲へスキップします。

■STOP (停止)

再生中に押せば停止、停止中押せば電源が切れます。

リモートコントローラ

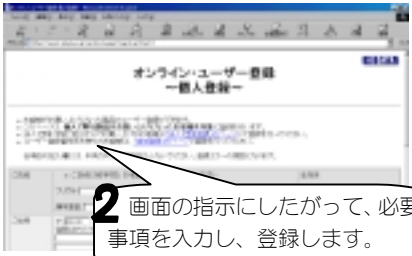
ユーザー登録をする

弊社製品をお使いになられるときは、お買い上げいただいた製品ごとにユーザー登録を必ず行ってください。登録すると、様々なアフターサービスが受けられます。

インターネットによる登録

インターネット接続環境があれば、一番簡単で早く登録できます。

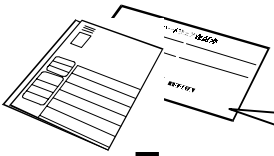
1 http://www.iodata.co.jp/regist にアクセス！



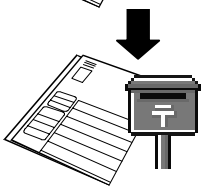
2 画面の指示にしたがって、必要事項を入力し、登録します。

登録後、「ハードウェアシリアルNo.シール」をユーザー登録カードとハードウェア保証書に貼り、ユーザー登録カードには登録番号を記入して、大切に保管してください。

ハガキによる登録



1 ユーザー登録カードとハードウェア保証書に「ハードウェアシリアルNo.シール」を貼ります。



2 ユーザー登録カードに必要事項を記入してポストへ投函してください。
必要事項の記入もれやシール貼り忘れがないか、ご確認ください。

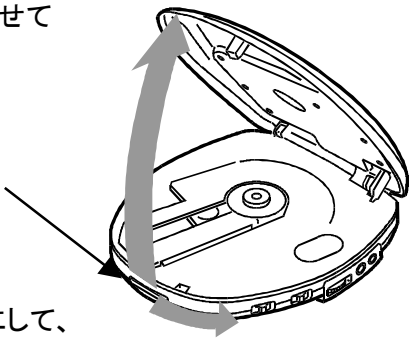
MEMO

2 音楽 CD を聴くには

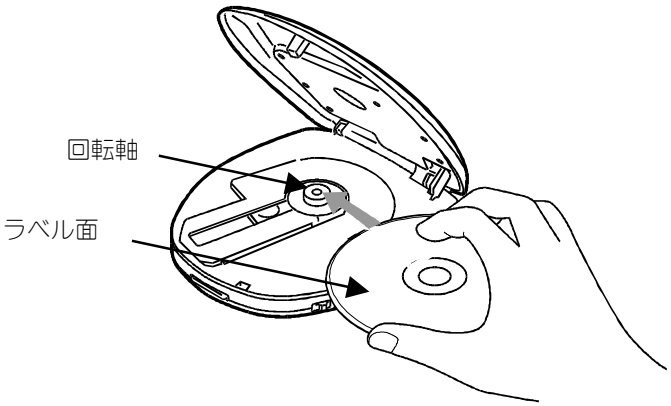
ここでは音楽 CD を聴く場合の操作を説明します。

音楽 CD を再生する

1 OPEN スイッチをスライドさせて本機の上ぶたを開けます。

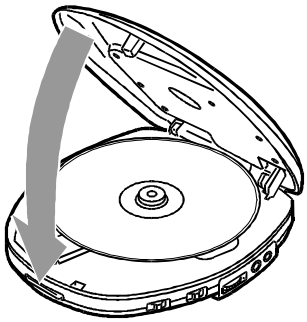


2 音楽 CD のラベル面を上にして、中央の回転軸にディスクの穴を合わせて、上からしっかり押さえます。



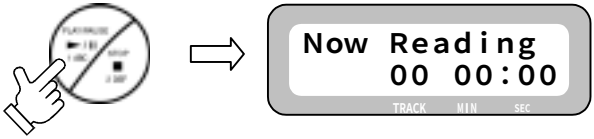
3 上ぶたを閉めます。

カチッという音がするまでしっかり閉めてください。



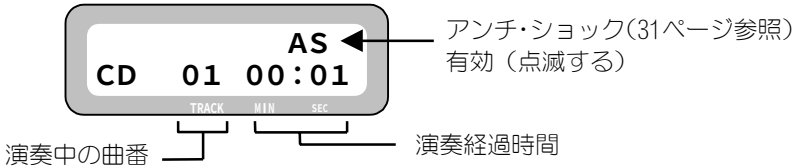
4 PLAY/PAUSE ボタンを押します。

液晶表示器に以下の表示がでます。



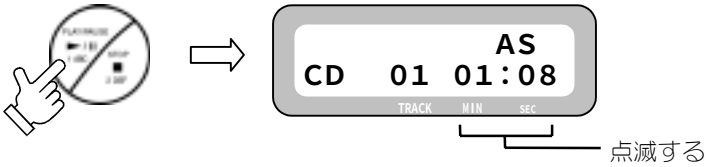
5 5秒程で以下の表示となり、演奏が始まります。

（時間がかかることがあります。）



6 一時停止するときは、PLAY/PAUSE ボタンを押します。

再生中に PLAY/PAUSE ボタンを押すと一時停止します。演奏経過時間が点滅します。再度 PLAY/PAUSE ボタンを押すと再生を開始します。



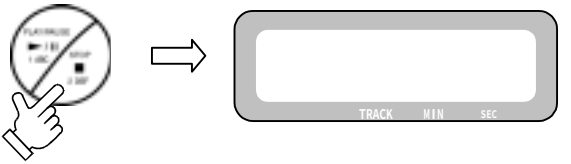
7 STOP ボタンを押します。

演奏が停止し、液晶表示器に以下の表示がでます。

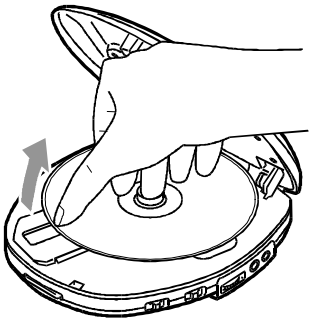


8 STOP ボタンを押して電源を切ります。

液晶表示器の表示が消えます。



9 OPEN スイッチをスライドさせて上ぶたを開きディスクを取り出します。



厳守

演奏途中で上ぶたを開けないでください。ディスクが回転しているためケガや故障の原因になります。必ず STOP ボタンを押して停止してからディスクを取り出してください。

MEMO

3 MP3ディスクを聴くには

本機では、MP3 データを記録した CD-R/CD-RW ディスクを再生することができます。
パソコンで MP3 データをディスクに書き込むときは必ずシングルセッションで書き込んでください。本機はマルチセッション方式で書き込んだディスクには対応しておりません。
マルチセッションで書き込んだ場合は最初のセッションのみ再生されますのでご注意ください。

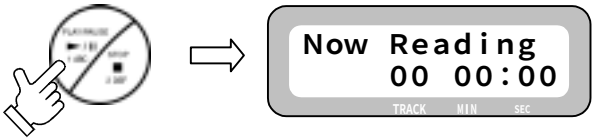


- **書き込み方法の詳細については、ご利用のライティングソフトの説明書をご参照ください。**
- **CD-R、CD-RW のディスクや、書き込まれた状態によっては正常に再生されない場合があります。**
- **最下層のフォルダに MP3 などのデータが入っていないと誤動作する場合があります。**

MP3 ディスクを再生する

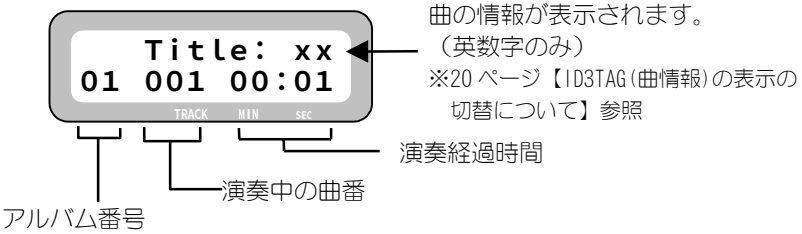
1 MP3 データを記録したディスクを入れます。
※入れ方は【音楽 CD を再生する】（13 ページ）を参照。

2 PLAY/PAUSE ボタンを押します。
液晶表示器に以下の表示がでます。

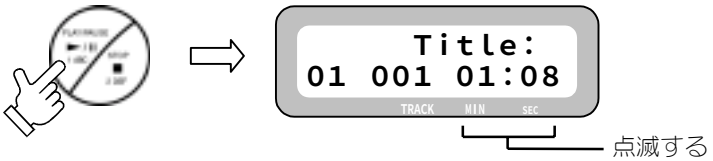


何も書かれていないディスクを入れた場合は「Disc Error」と表示されるなど、正常に認識されません。「Disc Error」と表示された場合は、STOP ボタンを押してディスクが停止していることを確認してからディスクを取り出してください。

3 数十秒で以下の表示となり、演奏が始まります。
（入っている曲数により時間がかかることがあります。）

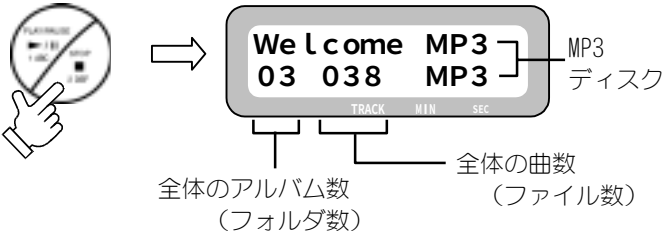


4 一時停止するときは、PLAY/PAUSE ボタンを押します。
再生中に PLAY/PAUSE ボタンを押すと一時停止します。演奏経過時間が点滅します。再度 PLAY/PAUSE ボタンを押すと再生を開始します。



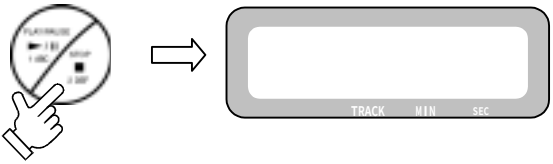
5 演奏を中止するときは、STOP ボタンを押します。

演奏が停止し、液晶表示器に以下の表示がでます。

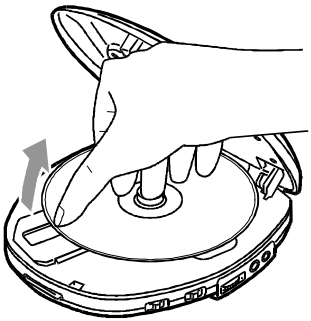


6 再度 STOP ボタンを押すと、電源が切れます。

液晶表示器の表示が消えます。



7 OPEN スイッチをスライドさせて上ぶたを開きディスクを取り出します。



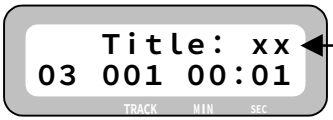
厳守

演奏途中で上ぶたを開けないでください。ディスクが回転しているためケガや故障の原因になります。必ず STOP ボタンを押して停止してからディスクを取り出してください。

ＩＤ３ＴＡＧ（曲情報）の表示の切替について

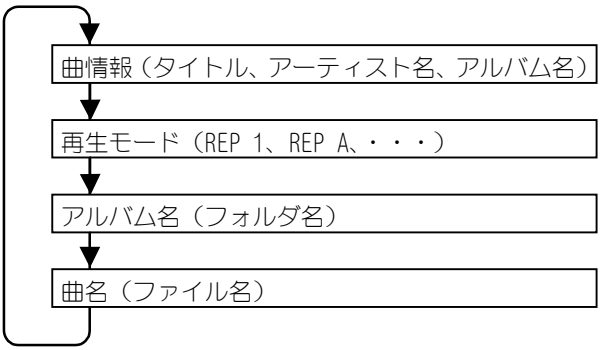
MP3 ディスク演奏時は、液晶表示器に ID3TAG Ver1.1※の曲情報を表示します。
MP3 データが ID3TAG を持たない場合は、曲名（ファイル名）が表示されます。
（曲情報は表示されません。）

※MP3 には、ID3TAG と呼ばれる付属情報を保存する領域が確保されていて、曲のタイトル名、アーティスト名、アルバム名などが入力できます。その情報を液晶表示器の以下の部分に表示します。



この部分に曲情報などが表示されます。

表示する内容は DISPLAY ボタンで切り替えることができます。

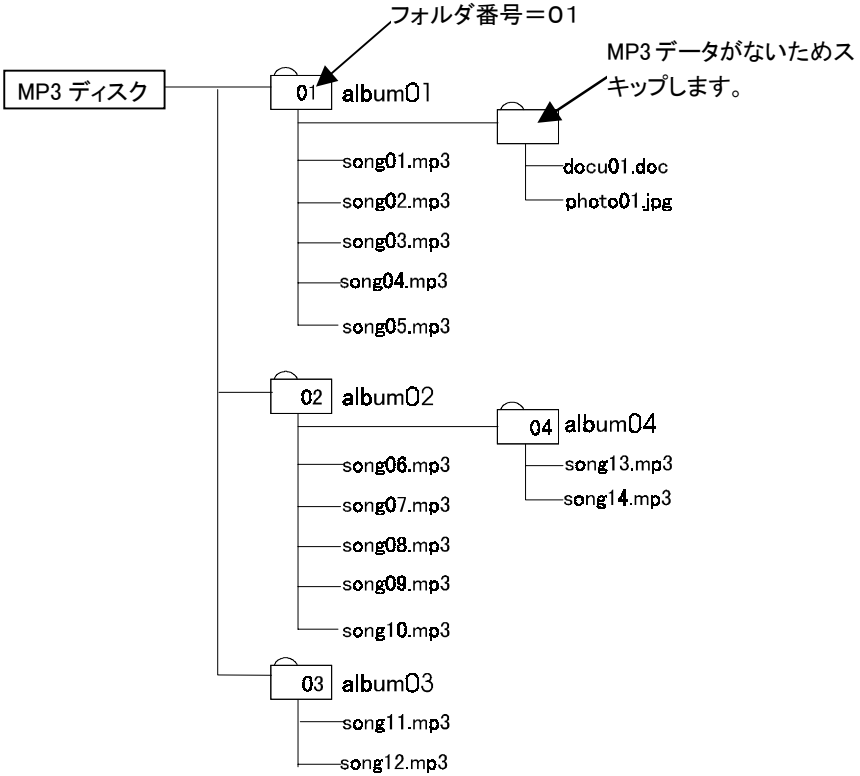




- **ID3TAG（曲情報）の中に半角英数字以外が含まれている場合は「unknown」と表示されます。**
- **アルバム名（フォルダ名）が正しく表示されない場合がありますが、その他の表示は正しく表示されます。また、音楽の再生に影響することはありません。**

MP３ディスクのフォルダ階層について

本機では、CD-R や CD-RW に階層（フォルダの中にフォルダを作成）で書き込まれた MP3 データを再生することができます。そのときのフォルダの番号について説明します。フォルダ番号は、フォルダ番号を指定して再生するときなどに使います。
フォルダの番号は MP3 データの含まれているフォルダについて下記のような番号となります。また、各フォルダに含まれる MP3 データの演奏曲順は song01→song02→・・・・song14 の順番となります。



・ フォルダの階層は8階層まで認識できます。
・ 総フォルダ数は 20※、総ファイル数は 200 までです。
※ルートも含めます。

MEMO

4 機能について

ここでは本機の機能について説明します。よく読んで、本機を使いこなしてください。

◆２４曲プログラム機能---------- ２４ページ

◆アンチ・ショック機能---------- ３１ページ

◆再生モード選択機能---------- ３２ページ

◆ファイル・フォルダ サーチ・再生機能（MP3 のみ） ------- ３３ページ

◆ファイル・フォルダ 選択・再生機能（MP3 のみ） --------- ３７ページ

◆簡易レジューム機能---------- ４０ページ

◆バス・ブースト機能---------- ４１ページ

◆ホールド機能---------- ４１ページ

◆オートパワーオフ機能---------- ４２ページ

２４曲プログラム機能

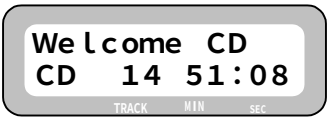
演奏する曲順を自由にプログラム（指定）して演奏することができます。
指定できる曲数は２４曲です。演奏する曲は曲番号で指定します。

プログラムした内容は電源を切ると消えますのでご注意ください。

音楽ＣＤで曲順を指定するとき

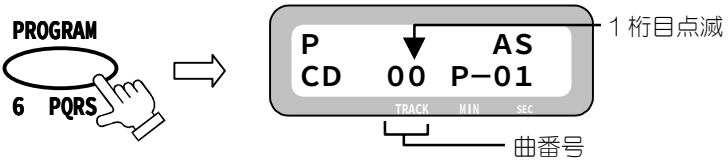
1 演奏したいディスクを入れて、PLAY/PAUSE ボタンを押します。演奏が始まったら STOP ボタンを押します。

液晶表示器に以下の表示がでます。



2 PROGRAM ボタンを押します。

液晶表示器の、曲番号１桁目が点滅します。

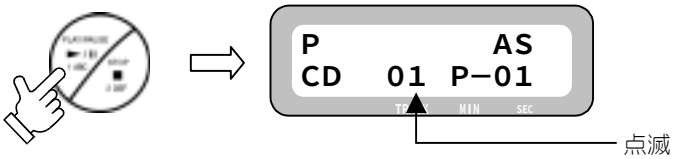


3 曲番号を指定します。

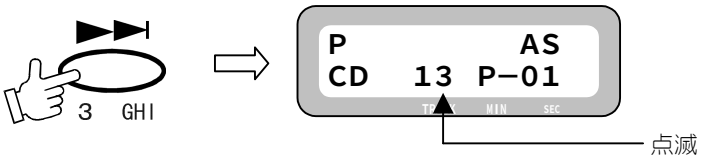
曲番号は各ボタンの下に書いてある数字のボタンを使って指定します。

例）１曲目に音楽 CD の 13 曲目を指定する場合

①1(PLAY/PAUSE)ボタンを押します。

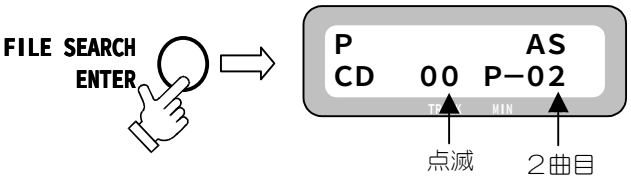


②3(FF)ボタンを押します。



③ENTER(FILE SERCH)ボタンを押します。

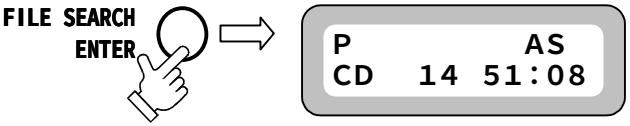
これで１曲目にプログラムされました。



④2曲目以降も同様に行います。

4 終わるときは ENTER(FILE SERCH)ボタンを押します。

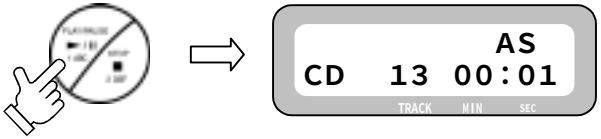
液晶表示器は以下の表示となります。



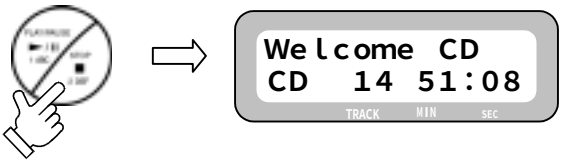


5 PLAY/PAUSE ボタンを押します。

13 曲目から演奏が始まります。



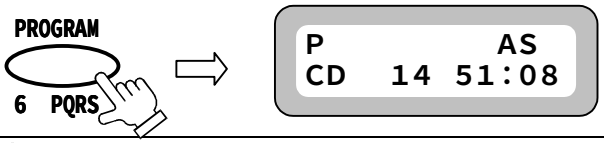
6 演奏を停止するときは STOP ボタンを押します。



STOP ボタンを押して演奏を停止すると、プログラム再生モードは解除されます。ここでPLAY/PAUSEボタンを押すとプログラムした曲順ではなく、CD の1番目の曲から演奏されます。

7 もう一度、プログラムした曲から演奏するときは PROGRAM ボタンを押します。

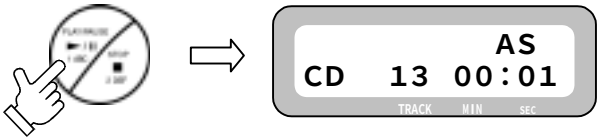
手順 **6** で STOP ボタンを押したことによりプログラム再生モードが解除されたために、再度 PROGRAM ボタンを押してプログラムモードにします。



ここで STOP ボタンを押すとプログラムした内容は消えてしまいます。

8 PLAY/PAUSE ボタンを押します。

再度プログラムされた曲の演奏が始まります。



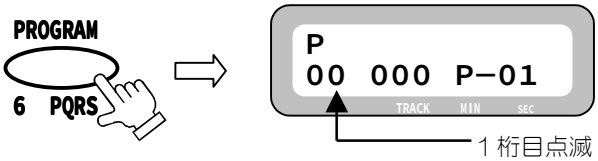
MP３ディスクで曲順を指定するとき

MP3 ディスクの曲をプログラムするときは、まず、フォルダ（アルバム）を指定し、次にそのフォルダ（アルバム）のトラック番号を指定します。
以下の説明では、フォルダをアルバム、トラックを曲番号として説明します。

1 演奏したいディスクを入れて、PLAY/PAUSE ボタンを押します。演奏が始まったら STOP ボタンを押します。
液晶表示器に以下の表示がでます。



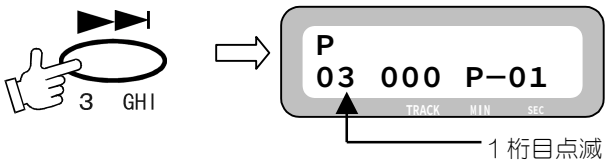
2 PROGRAM ボタンを押します。
液晶表示器の、アルバム１桁目が点滅します。



3 アルバム番号を指定します。
曲番号は各ボタンの下に書いてある数字のボタンを使って指定します。

例）３番目のアルバムを指定する場合

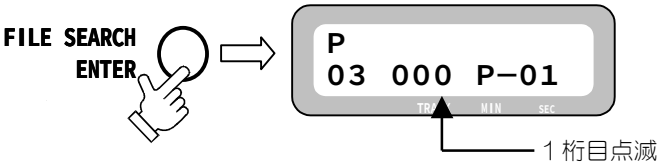
①3(FF)ボタンを押します。



②ENTER(FILE SEARCH)ボタンを押します。

アルバム番号の指定が終わりました。

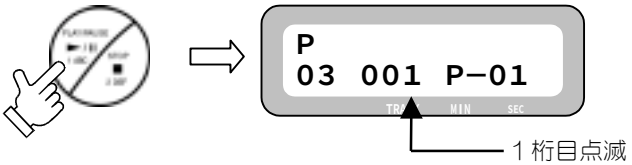
曲番号の１桁目が点滅します。



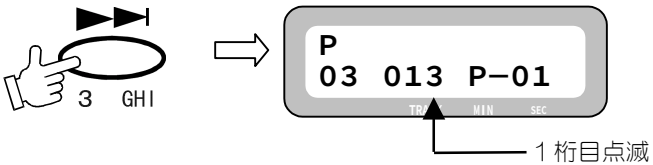
4 曲番号を指定します。

例）13 番目の曲番号を指定する場合

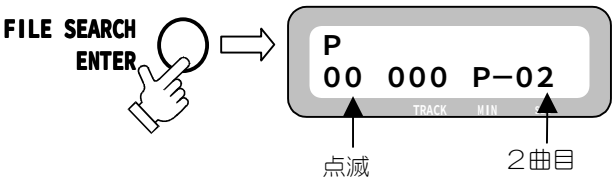
①1(PLAY/PAUSE)ボタンを押します。



②3(FF)ボタンを押します。



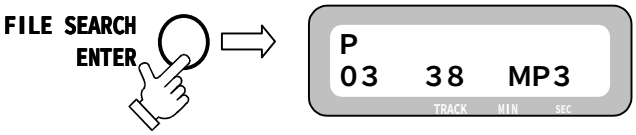
③ENTER(FILE SEARCH)ボタンを押します。



④2曲目以降も手順**3**、手順**4**を参考にして指定します。

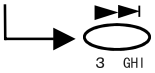
5 プログラムを終わるときは ENTER(FILE SEARCH)ボタンを押します。

液晶表示器は以下の表示となります。



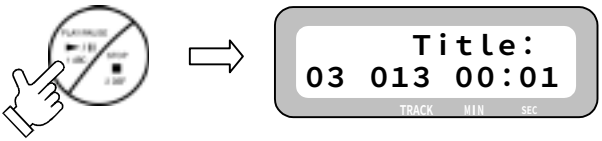


正しく指定できたか確認するときは、FF(スキップ)ボタンを押すと表示器に曲番号が表示されます。

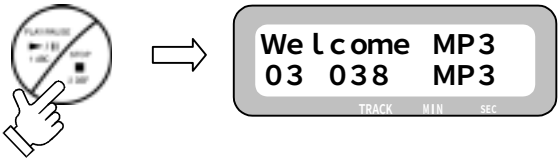


6 PLAY/PAUSE ボタンを押します。

演奏が始まります。



7 演奏を停止するときは STOP ボタンを押します。

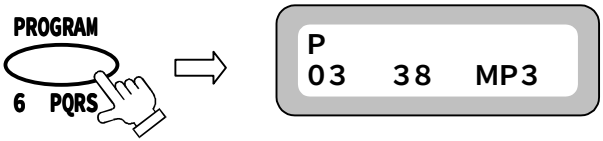




STOP ボタンを押して演奏を停止すると、プログラム再生モードは解除されます。ここで PLAY/PAUSE ボタンを押すと指定(プログラム)した曲順ではなく、CD の 1 番目の曲から演奏されます。

8 もう一度、プログラムした曲から演奏するときは PROGRAM ボタンを押します。

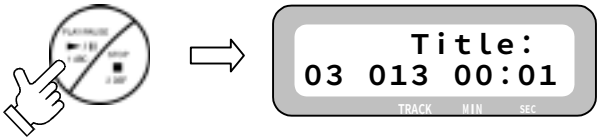
手順 **6** で STOP ボタンを押したことによりプログラム再生モードが解除されたために、再度 PROGRAM ボタンを押します。



ここで STOP ボタンを押すとプログラムした内容は消えてしまいます。

9 PLAY/PAUSE ボタンを押します。

再度プログラムされた曲の演奏が始まります。



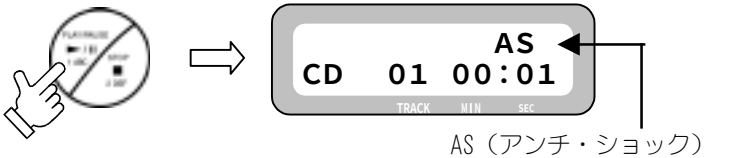
アンチ・ショック機能

振動の多いところで聴くときは「アンチ・ショック」を有効にしておけば音飛びが防げます。
※連続で振動が続くような場合は音飛びがおきる場合もあります。
※MP3 再生時はアンチ・ショック機能は常に有効です。（無効にすることはできません。）

アンチ・ショック機能を有効にしていると電池の消費が増えます。平らなところなどで振動がない場合は、アンチ・ショック機能を無効にすると、より長く再生ができます。

1 演奏したいディスクを入れて、PLAY/PAUSE ボタンを押します。

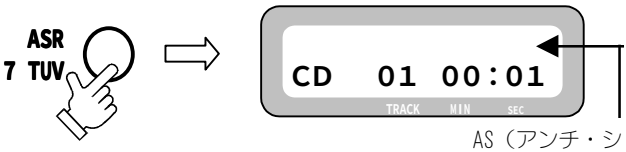
液晶表示器に「ＡＳ」の表示がでます。（音楽 CD の場合）
※MP3 ディスクの場合は表示されませんがアンチ・ショック機能は有効になっています。



AS（アンチ・ショック）
機能が有効となっている。

2 「アンチ・ショック」を無効にしたい場合は、ASR ボタンを押します。

液晶表示器から［ＡＳ］の表示が消えます。（AS 機能が無効）
再度、ASR ボタンを押せば有効になります。



AS（アンチ・ショック）
機能が無効となっている。

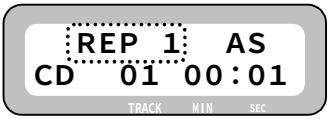
再生モード選択機能

ディスクを再生するときに、以下の再生モードを選択することができます。
PLAY MODE ボタンを押す毎に切り替わります。

・１曲リピート
・全曲リピート
・フォルダ内の全曲リピート（複数のフォルダがある MP3 ディスクのみ）
・イントロ再生
・ランダム再生

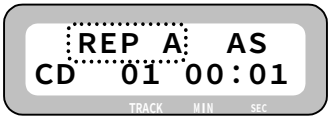
●1曲リピート［REP 1］

１曲を繰り返し再生します。



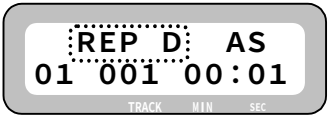
●全曲リピート［REP A］

ディスクに納められている全曲を
繰り返し再生します。



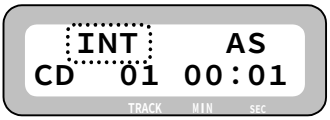
●フォルダ内の全曲リピート（MP3 のみ）［REP D］

フォルダに納められている全曲を繰り返し再生します。
※フォルダが複数ある場合に選択できます。



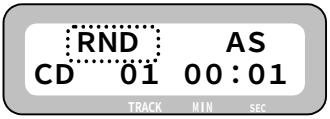
●イントロ再生［INT］

曲の頭の部分（約 10 秒）だけ再生します。



●ランダム再生［RND］

曲順をランダムに再生します。



ファイル・フォルダ サーチ・再生機能（MP3 のみ）

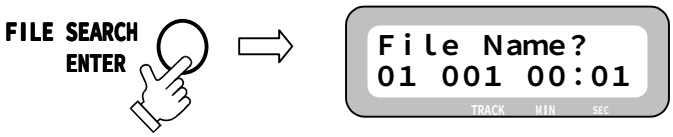
MP3 ファイルが記録されているディスクを再生するときは、聴きたい曲名（ファイル名）でサーチ（検索）して再生できます。また、アルバム名（フォルダ名）でサーチして再生することもできます。
以下の説明では、フォルダ名をアルバム名、ファイル名を曲名として説明します。

曲名でサーチ、再生する

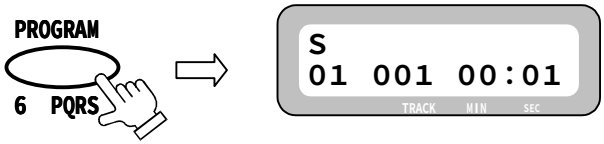
曲名でのサーチは、曲名の先頭の 1～6 文字を指定してサーチします。

例）「song」という曲名をサーチするとき

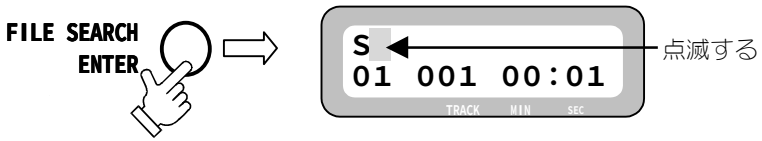
1 FILE SEARCH ボタンを押します。
液晶表示器に［File Name?］の表示がでます。



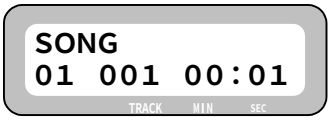
2 まず、「SONG」の「S」を入力します。
曲名は各ボタンの下に書いてある英数字のボタンを使って指定します。「S」を入力するには PROGRAM(6 PQRS)ボタンを 5 回押します。
「6」→「P」→「Q」→「R」→「S」と順番に表示されます。



3 ENTER(FILE SEARCH)ボタンを押します。
入力文字が確定し、隣が点滅します。



4 引き続き、手順**2**，手順**3**を参考にして、「O」「N」「G」と入力します。



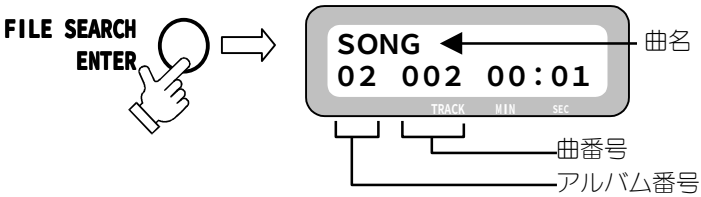
（入力規則）

- **曲名が小文字の場合でも、大文字で入力します。小文字・大文字の区別は行いません。**
- **サーチ時、曲名に使われているスペースは無視される場合もあります。そのときはスペースを入力せずに行ってみてください。**
- **入力する文字数は6文字までです。**
- **約 10 秒間何も入力しないと元に戻ります。**
- **CLEAR(DISPLAY)ボタンを2秒以上押し続けると元の状態に戻ります。**

5 ENTER(FILE SEARCH)ボタンを押します。

一致した曲名の曲が再生されます。

一致したものが見つからなかった場合は「No File」と表示されます。



サーチ時、複数同じ曲名があった場合

サーチは曲名の頭 1～6文字で行うため、頭6文字まで一致している曲名は区別できません。そのときは液晶表示器の「アルバム」、「曲番号」、「曲名」の部分が点滅します。PLAY ボタンを押せば再生を始めます。

FF（スキップ）ボタンを押すと一致した曲名を順番に表示しますので、目的の曲のところで PLAY ボタンを押せば再生を始めます。

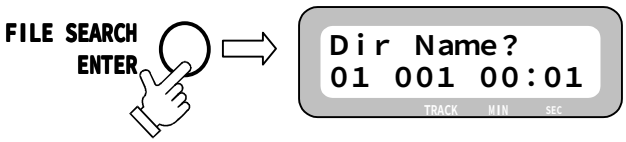
点滅のままで PLAY ボタンを押さないと、サーチ結果は無効となります。

アルバム名でサーチ、再生する

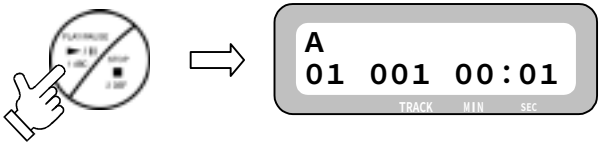
アルバム名でのサーチは、アルバム名の先頭の 1〜6 文字を指定してサーチします。ディスクに２つ以上のアルバムがないとサーチは無効になります。

例）「AlbumO3」というアルバム名を「ALBUM」でサーチするとき

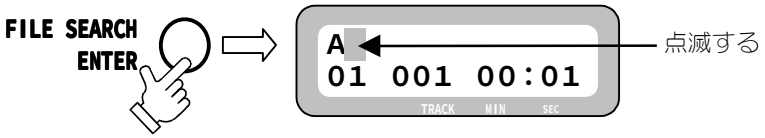
1 FILE SEARCH ボタンを 2 回押します。
液晶表示器に［Dir Name?］の表示がでます。



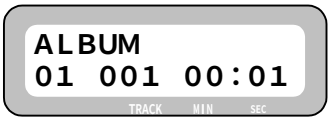
2 まず、「ALBUM」の「A」を入力します。
曲名は各ボタンの下に書いてある英数字のボタンを使って指定します。「A」を入力するには PLAY/PAUSE ボタンを 2 回押します。
「1」→「A」と順番に表示されます。



3 ENTER(FILE SEARCH)ボタンを押します。
入力文字が確定し、隣が点滅します。



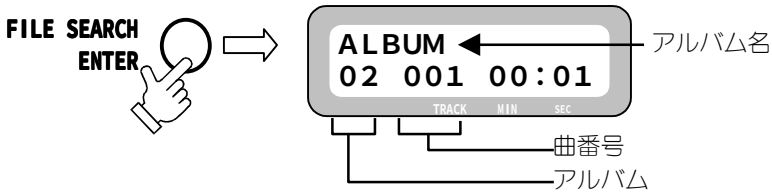
4 引き続き、手順**2**，手順**3**を参考にして、「L」「B」「U」「M」と入力します。



（入力規則）

- **アルバム名が小文字の場合でも、大文字で入力します。小文字・大文字の区別は行いません。**
- **サーチ時、アルバム名に使われているスペースは無視しますので、スペースは入力しません。**
- **入力する文字数は6文字までです。**
- **約 10 秒間何も入力しないと元に戻ります。**
- **CLEAR(DISPLAY)ボタンを2秒以上押し続けると元の状態に戻ります。**

5 ENTER(FILE SEARCH)ボタンを押します。
一致したアルバムの先頭の曲が再生されます。
一致したものが見つからなかった場合は「No File」と表示されます。



サーチ時、複数同じアルバム名があった場合

サーチはアルバム名の頭 1～6文字で行うため、頭6文字まで一致しているアルバム名は区別できません。そのときは液晶表示器の「アルバム」、「曲番号」、「アルバム名」の部分が点滅します。PLAY ボタンを押せば再生を始めます。
FF]スキップ)ボタンを押すと一致したアルバムを順番に表示しますので、目的のアルバムのところで PLAY ボタンを押せば再生を始めます。
点滅のままで PLAY ボタンを押さないと、サーチ結果は無効となります。

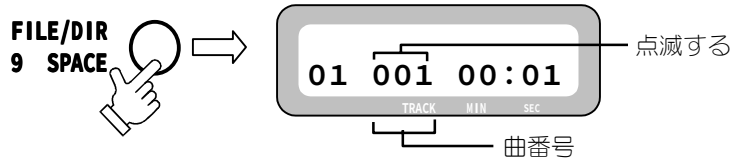
ファイル・フォルダ選択・再生機能（MP3 のみ）

MP3 ファイルが記録されているディスクを再生するとき、聴きたい曲番号（トラック）を指定して再生できます。また、聴きたいアルバム（フォルダ）を指定して再生もできます。
以下の説明では、フォルダをアルバム、トラックを曲番号として説明します。

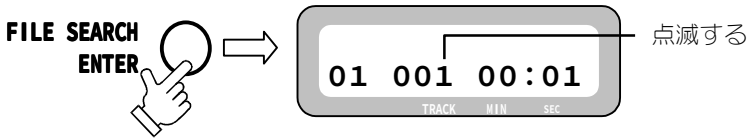
曲番号で、再生する

現在演奏中のアルバムの曲番号を指定して再生します。

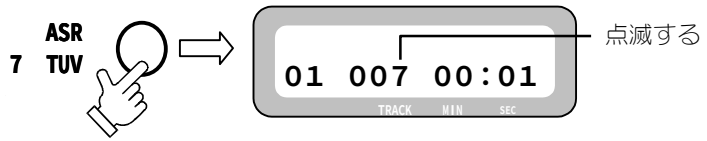
1 FILE/DIR ボタンを押します。
液晶表示器の「曲番号」が点滅します。



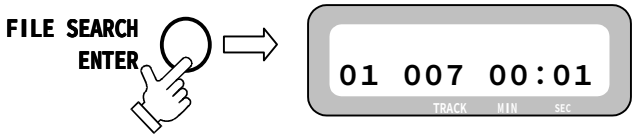
2 ENTER(FILE SEARCH) ボタンを押します。
「曲番号」の 1 桁目が点滅します。



3 番号ボタンを押します。
7 番目の曲の場合は 7（ASR）ボタン、
12 番目の曲の場合は 1（PLAY/PAUSE）、2（STOP）ボタンを押します。



4 ENTER（FILE SEARCH）ボタンを押します。
入力した番号の曲が再生されます。

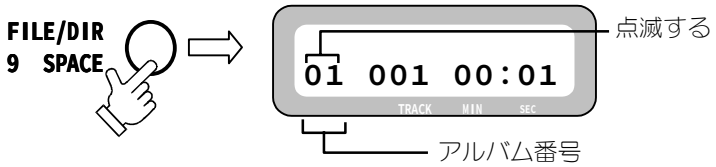


入力した番号が実際の曲数をこえているときは、最後の曲が再生されます。

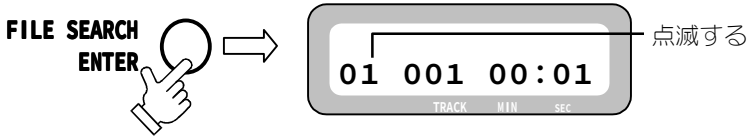
アルバムを指定して再生する

アルバムを指定して再生します。アルバムの頭の曲から再生します。

1 FILE/DIR ボタンを2回押します。
液晶表示器の「アルバム番号」が点滅します。

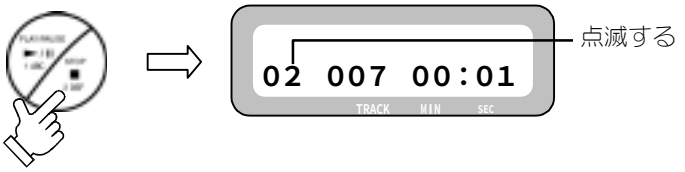


2 ENTER（FILE SEARCH）ボタンを押します。
「アルバム番号」の1桁目が点滅します。



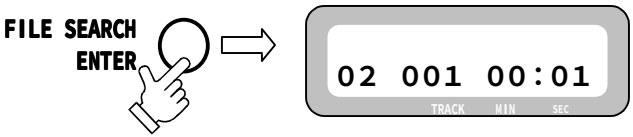
3 アルバム番号ボタンを押します。

2 番目のアルバムの場合は 2（STOP）ボタンを押します。



4 ENTER(FILE SEARCH) ボタンを押します。

入力したアルバムの先頭の曲が再生されます。



入力した番号が実際のアルバム数をこえているときは、最後のアルバムの最初の曲から再生されます。

簡易レジューム機能

演奏しているときに STOP ボタンで中止した場合、演奏していた曲を記憶しています。RESUME ボタンを押せば記憶していた曲を再度、曲の最初から演奏することができます。※

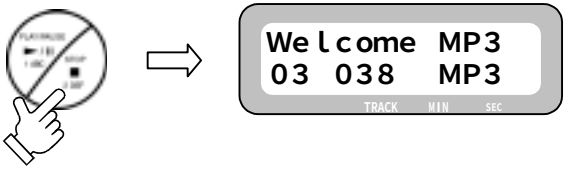
演奏していた曲をもう一度最初から聴きたいときは以下の手順で操作してください。

ただし、電源を切ったときは、レジューム機能がキャンセルされます。

※レジューム機能は１回のみ有効です。

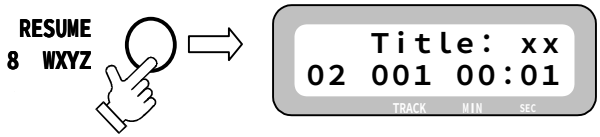
1 演奏中に STOP ボタンを押します。

停止状態になります。



2 RESUME ボタンを押します。

STOP ボタンを押したときの曲が演奏されます。

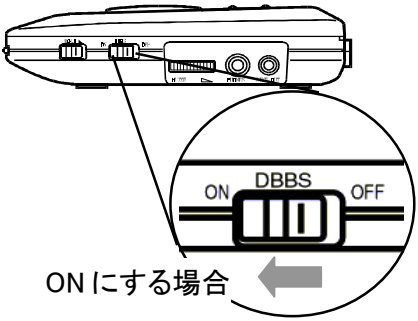


曲の途中で停止した場合でも、レジューム機能で戻った場合、曲の最初から演奏が始まります。

その他の機能

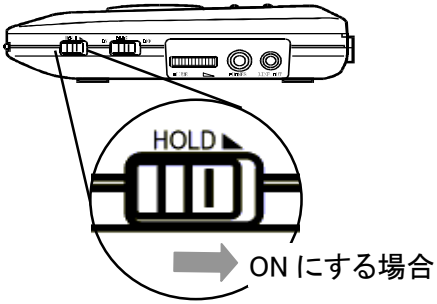
バス・ブースト機能

イヤホンで聴いているとき、低音をより強調して迫力のある音で演奏を楽しむことができます。お好みにより DBBS※スイッチをスライドして ON/OFF を切り替えてお使いください。　※DBBS（Dynamic Bass Boost System）



ホールド機能

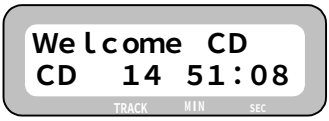
HOLD スイッチをスライドさせて ON にすると、どのボタンが押されても無効にします。電源が切れているときに ON にすると、PLAY/PAUSE ボタンを押しても液晶表示器に「HOLD」と表示され電源が入ることはありません。また、演奏中に ON にすると、すべてのボタンが無効になるため誤って停止したりすることがありません。
※リモートコントローラのボタンの操作は無効にはできません。



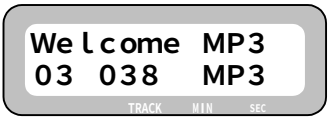
オートパワーオフ機能

停止状態が約 60 秒間続いたとき、自動的に電源が切れます。
演奏が終わって電源を切り忘れたときでも、自動的に電源が切れるため安心です。

停止状態は以下のように表示されています。



音楽 CD の場合



MP3 ディスクの場合

5 故障かなと思う前に

トラブルQ＆A<目次>

音楽 CD、MP3 ディスク共通のトラブル

電源が入らない ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 44
どのボタンを押しても反応しない ・・・・・・・・・・・・・ 44
音がでない ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45

音楽 CD 再生時のトラブル

音楽を再生すると、音飛びがする ・・・・・・・・・・・・・ 45
レジュームできない ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45

MP3 ディスク再生時のトラブル

「Now Reading」状態のままで、しばらく（約 1 分間）すると、
電源が切れる 46
「Disc Error」と表示される ・・・・・・・・・・・・・・・・ 46
複数アルバムが入っているディスクで最初のアルバム
しか聴けない ・・ 47

トラブルQ＆A

原因が複数ある場合は簡単なものから先に説明してあるので、上から順番に解決してください。

音楽 CD、MP3 ディスク共通のトラブル

電源が入らない

原　　因	電池が入っていないか、電池切れである。
解決方法	電池が正しく入っていることを確認してください。 一度電池を完全に抜いてから、電池を入れ直してください。 新しい電池に変えてみてください。 4 ページ【電池で使うとき】参照

原　　因	AC アダプタが接続されていない、または、しっかり接続されていない。
解決方法	AC アダプタを接続してください。接続されているときは一度抜いて再度差し込んでください 6 ページ【AC アダプタで使うとき】参照

原　　因	ホールド状態になっている。
解決方法	ホールドボタンが ON になっていないか、確認してください。ON になっていたら、逆の方向へスライドさせてください。その後、PLAY/PAUSE ボタンを押してください。 41 ページ【ホールド機能】参照

どのボタンを押しても反応しない

原　　因	ホールド状態になっている。
解決方法	ホールドボタンが ON になっていないか、確認してください。ON になっていたら、逆の方向へスライドさせてください。 41 ページ【ホールド機能】参照

音がでない

原　因	音量が小さい。
解決方法	電源が入っている場合は、本体またはリモートコントローラの VOLUME スイッチで音量を調節してみてください。

原　因	イヤホン（ヘッドホン）の接続が不完全。
解決方法	一度抜いて、再度しっかり接続してください。

音楽ＣＤ再生時のトラブル

音楽を再生すると音飛びがする

原　因	アンチ・ショック機能が ON になっていない。
解決方法	ASR ボタンでアンチ・ショック機能を ON にしてください。31 ページ【アンチ・ショック機能】参照

原　因	振動が本機のアンチ・ショック機能で対応できないほど大きい。
解決方法	振動の少ない場所でお使いください。

レジュームできない

原　因	電源を切ってしまうとレジュームできません。
解決方法	停止（電源が入っている）状態で RESUME ボタンを押してください。

原　因	レジュームは一度しかできない。
解決方法	レジューム再生をした後で停止し、再度レジュームはできません。

MP3 ディスク再生時のトラブル

「Now Reading」状態のままで、しばらく（約 1 分間）すると、電源が切れる

原　　因	入れたディスクに何も記録されていない。
解決方法	ディスクを確認してください。

原　　因	ディスクが正常に読めない。
解決方法	ディスクを交換して試してください。

原　　因	入れたディスクが裏である
解決方法	ディスクの裏表を確認してください。ラベル面が上になるように入れてください。

「Disc　Error」と表示される

原　　因	入れたディスクに何も記録されていない。
解決方法	ディスクを確認してください。

原　　因	ディスクに記録されている総フォルダ数または総ファイル数が多すぎる。
解決方法	総フォルダ数は 20※まで、総ファイルは 200 までにしてください。 ※ルートも含みます。



ディスクを取り出すときは、STOP ボタンを押して、しばらくしてからディスクを取り出してください。ディスクが回転している場合があります。

複数アルバムが入っているディスクで最初のアルバムしか聴けない

原　　因	ディスクがマルチセッションで記録されている。
解決方法	本機は、マルチセッションには対応しておりません。マルチセッションで記録されたディスクは最初のセッションのみ再生されます。

簡単なお手入れ

■汚れたときは

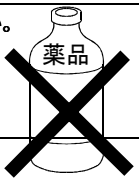
乾いた柔らかい布で拭いてください。
汚れがひどい場合は、かたく絞った布で拭いた後、必ず乾いた布でからぶきしてください。

■濡れたときは

できるだけ早く、乾いた柔らかい布で水気を拭き取ってください。

禁止

・ベンジンやシンナーなどの薬品類は絶対に使わないでください。
変色、変質のおそれがあります。
・油をささないでください。故障の原因になります。



■プラグなどのお手入れ

ヘッドホンのプラグは常にきれいにしておいてください。プラグに汚れがつくと、雑音が入ることがあります。

6 付録

ハードウェア仕様

■基本仕様■

型式番号	MDM-H2LP
対応メディア	12cm、8cm のディスク CD-DA 規格 ISO 9660 規格に準拠した CD-R、CD-RW
トラッキング方式	3 ビーム方式
レーザー	半導体レーザー
D/A 変換方式	1 ビット DAC（音楽ディスク） マルチビット DAC（MP3 ディスク）
MP3	ビットレート：32Kbps～224Kbps（可変ビットレートには未対応） サンプリングレート：16KHz～48KHz
出力端子	フォンアウト X1（φ3.5mm）、ラインアウト X1（φ3.5mm）
電源入力端子	DC4.5V ジャック（外部電源入力）
アンチショック	音楽 CD 約 45 秒、MP3 約 110 秒
電源	単 3 アルカリ乾電池×2 AC 100V 家庭用電源（付属 AC アダプタ使用）
電池駆動時間	音楽 CD（アンチ・ショック有）約 6 時間（当社測定値） 音楽 CD（アンチ・ショック無）約 7 時間（当社測定値） MP3 約 10 時間（当社測定値） ※単 3 アルカリ乾電池使用時
外形寸法	130×32×145 mm
質量	本体：260g（電池除く）

■オーディオ部仕様■

出力レベル	フォンアウト時:30mW + 30mW(16Ω/1KHz) ラインアウト時:650mV(47KΩ/1KHz)
周波数特性	20Hz ～ 20KHz

用語解説

MP3(エムピースリー)（*MPEG-1 Audio Layer 3*）

MPEG Audio 規格は音声情報圧縮技術の規格で、Layer 1 が 1/4、Layer 2 が 1/8、Layer 3 が 1/10 の圧縮率を得ることができます。音楽 CD 並の高音質を得ることができるため、小型再生装置（携帯プレーヤーなど）やインターネットでの配布に便利です。

ID3TAG(アイディースリータグ)

MP3 ファイルには、ID3TAG と呼ばれる付属情報を保存する領域が確保されていて、曲のタイトル名、アーティスト名、アルバム名などが入力できます。その情報を ID3TAG に対応したプレーヤーで表示・編集することができます。本機では表示のみで編集はできません。

サンプリングレート

サンプリングを行う間隔時間。単位は秒。1 秒間に行うサンプリングの回数をいう場合は Hz（ヘルツ）を単位とします。サンプリング・レートが大きいほど、精度は高くなるが、データ数は増大します。一般的に音楽 CD のサンプリングレートは 44.1KHz です。

フォルダの階層構造

パソコン内のデータを整理する場合、関連するファイルをフォルダの中に入れますが、フォルダの中に別のフォルダを入れることもできます。いわゆる「階層構造」にすることができます。パソコンの OS によっては認識できる階層の数が異なります。ISO9660 規格では、8 階層までと決められています。

アフターサービス

サポートセンターへのお問い合わせ

■お知らせいただく事項

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号及びFAX番号
2. ご使用の弊社製品名
3. 現在の状態（どのようなときに、どうなり、今はどうなっているか。）

■オンライン

インターネット **http://www.iodata.co.jp/support/**
「サポートセンターお問い合わせ」内のフォームを使用して、
E-Mailをお送りください。

■郵便

〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地 アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
サポートセンター「MDM-H2LP」係 宛

■電話

電話番号 **金沢** **076-260-3646**
東京 **03-3254-1036**
受付時間 **9:30～19:00 月～金曜日（祝祭日を除く）**

■FAX

FAX番号 **金沢** **076-260-3360**
東京 **03-3254-9055**
宛先 **株式会社アイ・オー・データ機器**
サポートセンター「MDM-H2LP」係 宛

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターのみで行っています。
予めご了承ください。

保証について

■保証期間

保証期間は、お買い上げの日より１年間です。保証期間を過ぎたものや、保証書に販売店印とお買い上げ日の記述のないものは、有償修理となります。また、修理を受ける場合には保証書が必要になりますので、大切に保管してください。
弊社が販売終了を決定してから、一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
詳細は、ハードウェア保証書をご覧ください。

■保証範囲

次のような場合は、保証の責任を負いかねます。予めご了承ください。

- 本製品の使用によって生じた、データの消失及び破損。
- 本製品の使用によって生じた、いかなる結果やその他の異常。
- 弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障。

修理について

弊社製品の修理につきましては、以下の事項をご確認の上、販売店へご依頼いただくか、または下記修理品送付先までお送りくださいます様、お願い致します。

- 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
  また、修理品のデータにつきましては、故障症状確認の際にすべて消去されます。

- 修理品にはご使用の環境や現在の状態（『サポートセンターへのお問い合わせ』の「お知らせいただく事項」）をお書き添えください。

- 保証期間中は無償で修理いたします。ただし、次の場合は有償となります。
  ◇保証書がない場合
  ◇保証書の所定事項が未記入の場合
  ◇電源 ON で挿入、抜去、逆挿入など誤った操作方法や、お買い上げ後の輸送、落下、取り付け場所の移設による破損、故障の場合
  ◇落雷などの事故による破損の場合
  ◇本製品を改造した場合

アフターサービス

● 保証期間後は有償で修理いたします。
製品によっては主要部品がユニット化（一体化）されている場合があります。これらの製品で故障が主要部品におよんでいた場合、各ユニットの交換を実費で行います。

● 修理品送付先

住所　〒920-8513
石川県金沢市桜田町2丁目84番地　アイ･オー･データ第2ビル
株式会社アイ･オー･データ機器
「MDM-H2LP」修理係　宛

※修理品を送付される場合は、輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱･梱包材を使用してください。また、紛失等のトラブルを避けるため、**宅配便**または**書留郵便小包**でのご送付をお願いいたします。

● 修理品納期問い合わせ窓口

受付窓口　「MDM-H2LP」サービス窓口
電話番号　金沢　076-260-3663
受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00
月～金曜日（祝祭日を除く）

※申し込まれた修理品の納期をお知りになりたい場合は、こちらまでお問い合わせください。